

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

横浜市恩田地域ケアプラザ

## 2 事業計画

地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

- ・当ケアプラザの担当地区の高齢化率は、約 17%ですが、あかね台中学校が新設されたことにより、周辺の新興住宅エリアの年齢層はやや若い人口の方がお住まいになっておりますが、徐々に高齢化は進む傾向にあります。
- ・地域の現状としては、各団体で長年活躍されている方のつながりが強く、昔からの関係性ができている地域特性があります。地域のニーズをより把握し、アセスメントするために、自治会や恩田地区社協、民生委員や老人会との関係を引き続き強化することが必要な努力と考えております。
- ・地域での課題としては、ケアプラザから離れている松風台、桂台、田奈町等の地域に対する働きかけを行い、関わりを積極的に行い、ニーズの把握により、各地域に出張したり、集いの場を構築していく等の調整を行い、柔軟に対応することが必要であると考えております。
- ・恩田地域ケアプラザの立地環境として、青葉区内では町田市との県境にあり、山間部にあたりますが、平成 27 年度にバス便が減るなど、交通の便がやや悪く、また坂道も多い為、高齢者世帯の移動手段が地域課題の声としてあがることが多いのが現状です。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 多様な相談者から、さまざまな相談をすべて受け付け、適切な機関や制度、サービスにおつなぎするとともに、ご相談者の了解のもと、個人情報取り扱いに配慮しながら、関係機関に質の高い情報提供をすることで連携強化をはかります。
- ・ 皆様の『かかりつけ相談機関』となれるよう、相談内容、お困りの事やご本人の現状、支援計画や対応内容などを記録し、それを相談支援に活用できるよう、整理し安全に保管します。
- ・ 地域ケアプラザのどの職員が相談を受けても、同様の質で連携して対応できるように内部研修を開催します。
- ・ 社会福祉援助・支援過程について、ご相談者のご意向やご希望を踏まえ、専門的な支援にふさわしい根拠と必要性に基づく整然とした支援となるよう知識と技術の蓄積・共有をはかります。
- ・ 8050 問題と言われているように高齢者と中高年の引きこもりの子どもの世帯の増加に伴い、総合相談においては、より複雑化し、高齢者の介護相談ばかりでなく、その子への支援の必要性も出てきており、より一層の専門機関との連携強化を図り、チームによる支援体制を整えていきます。
- ・ 実親と義理の親の介護・孫のケアと親の介護という介護の重層化や、育児と介護のダブルケアでストレスを抱える家族の支援体制も強化していきます。
- ・ 育児で不安を抱える保護者からの相談には、必要に応じて適切に子育て支援の関係機関へと繋げていけるよう連携を図ります。

### (2) 各事業の連携

- ・ 事業に関わるボランティア同士の交流を図る機会を設け、ボランティア同士のネットワークづくりを支援します。
- ・ 介護や育児の孤立化の予防のためにも地域住民が気軽にケアプラザに来館してもらえるよう地域活動交流部門・地域包括支援センター・生活支援コーディネーターが情報交換を行いながら、あらゆる世代向けの事業や講座の開催を行っていきます。
- ・ ケアプラザの周知を図りながら、遠方のエリアには積極的に出向いて行き出前講座などの開催を行い、サロンや憩いの場の立ち上げなどに向け連携を深めていきます。
- ・ 5 職種が有機的に連携を図り、地域の活性化へと相乗効果が発揮できるような体制づくりを構築していきます。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 所長 常勤 1 名
- ・ 地域包括支援センター 常勤 3 名 非常勤 2 名
- ・ 地域活動交流部門 常勤 1 名 非常勤 4 名
- ・ 生活支援コーディネーター 常勤 1 名
- ・ 居宅介護支援部門 常勤 3 名
  
- ・ 部門ごとの月例会議及び包括・地域交流・生活支援部門合同の 5 職種会議、職員全体会議、それぞれの場で情報共有を行い、研修計画に基づき常に学習への意欲を持ち、スキルアップに努めてまいります。
- ・ 事業者との関係性を公平に保てるよう連携を図り、地域利用者がサービス事業者等の選定を希望する場合は、ホームページやサービスガイド等を示し、利用者、家族主体で選んでいただきます。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・自治会、地区社協、民生児童委員、保健活動推進員、ヘルスメイト、老人クラブ等の会合や行事への積極的な参加により、連携、協力体制、顔の見える関係性作りに努めていきます。
- ・地域住民や地域福祉の関係機関など、地域ケア会議や協議体への参加を促し、地域全体で課題を共有し解決策を共に考えていけるようなネットワーク作りを構築してまいります。
- ・医療機関訪問や協力医との連携などで地域における医療と介護の連携を図っていきます。

#### (5) 区行政との協働

- ・区の地区担当者とは常に情報共有を行い、困難ケースへの支援、地域の課題等に対し、解決にむけて連携を図っていきます。
- ・区とケアプラザの協働事業にも（子育て支援から高齢者まで）積極的に協力し、常時、報告・連絡・相談を心がけていきます。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

- ・男性向け料理教室2組を実施し、定年退職した男性が地域で仲間づくりが出来るよう支援し、ケアプラザの事業や地域の活動に参加します。
- ・主婦層を対象に実施していた手芸講座を誰でも気軽に参加出来るようなカフェスタイルに発展させる。また、地域の方を講師に迎え、地域活動につなげます。
- ・腰痛や女性に多い腹圧性尿失禁を予防し、外出の機会を減らすことなく、日常生活を送るために骨盤底筋を鍛えるトレーニングを行います。
- ・未就園児を対象としたフリースペースを常設し、保育園と共催で子育てに関わる講座を行ったり、ボランティア保育士による子育て広場を定期的に行うことで、保護者が子育てを楽しめるよう支援してまいります。子育て中の母親が仲間作りをする機会を増やし、育児中の母親の孤立を予防していきます。
- ・地域内にある神社のお囃子保存会に協力頂き、郷土芸能に触れたことがない方にお囃子を体験する機会を作り、郷土芸能の担い手を育てます。
- ・昨年実施した、地域の良いところを教え合いながら、まちを元気にするヒントを考える「きらピカ☆まちびと」で集めた地域の情報を集約し、“きらピカ☆マップ”を作成し、地域の拠点で配布致します。
- ・桂台コミュニティハウスや田奈ステーション等に出向き、ケアプラザで好評だった事業を出張して実施します。
- ・館外で行う事業の集合・解散場所を現地にすることで、ケアプラザから遠方にお住まいの方でも参加しやすいよう工夫します。
- ・高齢者の孤食を防ぎ、地域内での仲間作りを目的とした「みんなで昼食会」を実施します。
- ・留守番の機会が多い小学生を対象に火を使わない簡単料理教室「はらぺこキッズ」を男性の料理の会「悠 YOUmen' s②」の協力のもと、実施します。
- ・地域の歴史を知る方と共に歩いたり、恩田地区に長年暮らしている方から生活の移り変わりについて話しを聞いたりして、地域の魅力を再発見する「恩古知新隊」を結成する。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・地域で活動する団体等への部屋の貸出を行いません。
- ・活動団体に部屋の貸出があることを、ブログやチラシを使ってPRしていきます。
- ・ケアプラザ窓口にて団体Ⅱの活動を紹介するファイルを置いて、誰でも気軽に参加出来るよう工夫しています。また登録団体がケアプラザや地域のサロン等で活動の発表をする場を設けたり、高齢化等で参加人数が少なくなっている団体に声掛けして「体験会」を実施することで継続的に活動しやすいように支援していきます。
- ・地域の方が福祉保健活動団体を知る機会を設け、活動に参加出来るよう支援してまいります。
- ・登録団体の活動を地域に発信する為掲示板を活用し、広報誌で紹介してまいります。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・新地域人応援講座やコーヒー及びお花のボランティア養成講座、実験教室サポーターを受講された方が、特技や趣味を活かしながら自分らしくいきいきと地域で活動出来るよう支援してまいります。
- ・あかね台中学校と連携協力し、学生の自主学習の場を設け、そのサポート役として地域からボランティアを発掘していきます。
- ・地域住民が中心となって立ち上げた松風サロンやあかね台シネマサロンを引き続き支援しながら、新たなサロン立ち上げの準備をして、地域の今後を見据えて活動します。
- ・コミュニティカフェや自治会の集まり等に楽器演奏や演芸のボランティアを紹介し、地域の集まりを盛り上げてまいります。
- ・登録団体が地域の活動に参加出来るよう、もしくは必要とされている場に適切に繋がるようコーディネートしていきます。
- ・男性の料理の会「悠 YOUmen's①②」や「手芸かふえ」、「きらピカ☆まちびと」等のケアプラザ事業の参加者が、地域の活動へ繋がるよう支援していきます。また、新たな担い手も発掘します。
- ・あかね台中学校の生徒会、福祉委員、各部活動や職業体験の中でケアプラザの事業やフェスタに参加・協力して頂き、日頃の活動の成果を発表したり地域活動のきっかけ作りや福祉体験に繋がったりして、交流を深めます。

## (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ブログを適宜更新し、広報誌の発行による情報提供を行ってまいります。
- ・毎月作成している事業カレンダーをブログに掲載し、エリア内に居住していてもなかなか情報が得られない方や若い世代の方へもケアプラザの情報を簡単に入手出来る、事業に参加しやすいよう工夫していきます。また広報よこはまや地域の広報紙等を利用し、これまでケアプラザの自主事業等に参加されたことがない方にも広く知って頂けるように致します。
- ・小学生向けの事業や取組みに関しては地域内の小学校と近隣にある小学校へ児童家庭数のチラシを配布するよう依頼してまいります。高齢者向けの事業は高齢者の集まりの際に案内したり、老人会の広報紙を活用する等、対象者に適切な情報が届くよう工夫していきます。大規模な集合住宅や近隣のスーパー、施設・医療機関にもチラシの掲示をし、情報提供する場を増やしていきます。
- ・地域のコミュニティーカフェや子育てひろば、自治会、老人会など地域で活動する団体の集まりなどへ参加し、情報を収集してまいります。
- ・事業を行った後にアンケートを取り、地域のニーズを把握していきます。
- ・広報誌に定期的にあかね台中学校の福祉委員の活動を載せ、中学校と地域を結び情報を発信していきます。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・ 包括との地域ケア会議や、アンケートなどによる地域アセスメントから抽出された地域の課題解決の目標を、地域交流も含めたケアプラザ全体で取り組んでいけるよう5職種会議などで生活支援体制を伝えていき、連携を取れる体制づくりを整えていきます。
- ・ 区役所・区社協・他の地域ケアプラザと生活支援体制整備事業を推進できるように地域の情報の発信を行い、定期的にお互いに学びあい、ノウハウを共有できるようにしていきます。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 総合相談から地域による生活課題とニーズの把握を行い、地域の課題を分析し、まとめしていきます。
- ・ 地域の自治会や老人会、各種団体が行っている活動に参加し、地域住民との対話の中で、細かな困りごとやニーズ、地域の課題など、情報の収集を行います。
- ・ 地域での生活支援サービスを住民主体で行っているボランティアや、企業、事業所など把握を行いリスト化やマップに落とし込み、地域活動交流部門とともに情報の共有ができるよう行っていきます。
- ・ 地域資源の情報をケアプラザ内や地域の事業所等で共有を行い、今後のケアマネジメントに活用されるよう包括や地域のケアマネジャー、各事業所と意見の交換を行いながら発信を行っていきます。

#### (3) 連携・協議の場

- ・ 地域の自治会や老人会、防災会議などに参加を行いながら、お互い連携が取れていけるよう支援しつつ、ほかの協議の場の把握に努めていきます。
- ・ 各地域での地域と課題の解決に対して協議の場を重ね、目指す地域像を共有しながら地域づくりができるよう連携を行っていきます。
- ・ 連携・協議の場への参加を通じて、地域ごとの特性や実情に合う生活支援・介護予防・社会参加となる活動やサービスの創設となるよう働きかけ、現在ある活動は維持や発展できるように支援していきます。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 連絡会などで区役所・区社協と常に連絡連携を取りながら情報の共有を行い、担当地域の課題と結びつけながら広域の地域課題から関連付けていきます。
- ・ 他の地域ケアプラザとも情報を共有しながら、お互いに共同で連携を取りながら広域の地域課題解決に向けて行っていきます。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ・可能な限り地域に出向き、民生委員等関係機関との連携を密にはかり、支援のネットワークの強化をしていきます。具体的には、包括の役割や相互協力の重要性など認識していただけるよう定例会に出向きます。
- ・インフォーマル冊子の積極的な活用や地域のサロン、各種活動の把握を行い、様々な団体との有機的なつながりを構築し相談業務に活かしていきます。
- ・ワンストップサービスを常に心がけ、相談者の負担を軽減します。
- ・総合相談の内容を分析し、エリアの傾向・特徴を考慮したインフォーマルサービスなどの構築を5職種で検討していきます。

#### ②実態把握

- ・区役所や区社協等から、エリア内の高齢化率や介護保険利用状況などの統計資料を包括内で共有し、地域ケア会議や個別支援に、適切に生かしていきます。
- ・利用者アンケートを実施し、地域住民の声に耳を傾け、職員同士で課題を共有し話し合い、より良い支援に活かせるようにしていきます。
- ・坂が多いなどの地理的要件も高齢者に及ぼす影響は大きく、高齢ドライバーの問題なども共に地域住民や家族、警察などとも考えていく機会を設けていくことも検討していきます。

#### ③総合相談支援

- ・ご本人の思いを尊重しながら迅速で適切な支援ができるよう対応していきます。
- ・包括内の誰が受けても継続相談が可能になるよう、受けた相談は一元的に管理し日誌や相談票で情報共有し相談者への負担を軽減します。
- ・複雑化・多様化する相談にも適切に対応できるよう関係機関との連携を深め職員のスキルアップに努めます。
- ・介護保険の利用ばかりでなく地域のインフォーマルサービスも情報提供し利用に繋げていきます。
- ・ケースとしては終了しても残された家族へも介護予防の視点を持ちつつ継続的にフォローしていきます。
- ・セルフネグレクトなど医療やサービスになかなか繋がらないケースも増えており、3職種と地域住民や関係機関と密に連携し適切な支援ができるようにしていきます。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度の普及啓発講座を年1回以上は開催します。
- ・ 法律の専門家による個別相談会を年1回以上は実施します。
- ・ 個別支援においては丁寧でわかりやすい説明で制度の理解を深めていただき、すみやかに申し立ての支援をしていきます。
- ・ 消費者被害の防止策として消費者センターなどとの連携や資料活用などで、最新の情報等を織り込みながら、被害の未然防止策として老人会やサロンなどにおいて注意喚起を促す講話などをしていきます。
- ・ 介護予防の一環として青葉区版エンディングノート「わたしノート」書き方講座など、地域住民自身の人生の振り返りと今後の生き方について考えていただく講座を開催します。

### ② 高齢者虐待への対応

- ・ 常に区役所と連携を取りながら、虐待ネットワークミーティングの実施など、虐待の背景、介入のタイミング、役割分担など関係者を交え検討し適切な支援をしていきます。
- ・ 認知症の方のいる世帯、障害や無職の家族との同居などハイリスクな世帯への支援に力を入れ、虐待予防の視点で関わっていきます。
- ・ 早期発見のためにケアマネジャー、民生委員等、地域の協力機関との連携に努め、通報・相談しやすい関係性を築いていきます。
- ・ グレーケースや疑いの段階でも相談票を提出し区との連携・役割分担により適切な支援をしていきます。
- ・ 介護者の負担軽減のため、また就労者でも参加できるように「介護者のつどい」を土曜日の午後に開催し、心理カウンセラーや行政書士などを交えて専門家の立場からの講話も各1回ずつ実施します。

### ③ 認知症

- ・ 認知症の正しい理解のための普及啓発として、地域住民や中学生などを対象に「認知症サポーター養成講座」を3回以上は開催し、キャラバンメイト養成講座受講へ促します。
- ・ 認知症の方の早期発見のために地域からの情報に常にアンテナを張り早期受診や支援に繋がるよう取り組みます。
- ・ 認知症初期集中支援チームと連携し専門家からのアドバイスを受けて適切な支援に繋がるようにしていきます。
- ・ 必要に応じて「青葉区徘徊高齢者あんしんネットワーク」を情報提供し、認知症になっても安心した地域での暮らしができるよう支援していきます。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 民生委員や保健活動推進員、老人会等の集まりに出向き、地域ケアシステムや地域ケア会議、介護保険制度やサービス利用、ケアマネジャーの役割などについて周知できるようにしてまいります。
- ・ 地域のインフォーマルサービスや関係機関などの地域資源を整理しまとめ、ケアマネジャーに情報提供していきます。
- ・ 定期的に包括カンファレンスなどで関係機関等との交流や情報交換の機会をつくりまします。
- ・ 地区の民生委員の見守り事業へ協力支援を行ってまいります。
- ・ 地域ケア会議を通じて、地域住民とケアマネジャーや医療福祉保健専門職との連携を図ります。

#### ②医療・介護の連携推進支援

- ・ 主任ケアマネジャー分科会やケアマネジャー連絡会等と協力し、医療関係者との情報交換会、勉強会を行う「医療連携会議」「顔の見える関係作り会議」を通し連携を深めてまいります。
- ・ エリア内の医療機関などに訪問し、包括支援センターのPRを行ってまいります。
- ・ 区域で作成した医療連携の冊子の活用や青葉区在宅医療連携拠点と連携し事例検討会や勉強会などを開催していきます。
- ・ 地域ケア会議等を通じて関係機関との連携を深める機会を多く作ってまいります。
- ・ ねっとわーく青葉と連携し、包括カンファなどの機会を利用して、医療関係者と福祉介護関係者の意見交換会などを開催してまいります。
- ・ 近隣エリアの地域包括支援センターと共催で、地域包括支援センターカンファレンスを開催し、医療介護福祉保健関係者との連携強化を目的とした会を開催します。

#### ③ケアマネジャー支援

- ・ 地域のケアマネ事業所を概ね月1回程度訪問し、最新の情報を提供するとともに、気軽に相談しやすい関係性を構築し、困難ケースなどの早期対応・悪化予防・相談支援を行ってまいります。
- ・ 3職種それぞれの専門性を活かし、ケースに応じた的確な助言ができるように、連携して支援してまいります。
- ・ 区役所や主任ケアマネジャー分科会と協力して新任ケアマネジャーへの研修・実習支援を年2回開催します。
- ・ 主任ケアマネジャー分科会と協力してケアマネジャー自主勉強会を企画・実施・支援しケアマネジャーのスキルアップを図ってまいります。
- ・ 支援困難ケースについては、速やかに区役所と連携し役割分担しながら対応していきます。
- ・ 地域のケアマネジャーが支援対応困難事例等について、検討し助言や意見交換等ができるよう、事例検討会が開催できるように準備します。



#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 地域ケア会議を開催、会議を積み重ねることで、医療機関や介護保険事業者ばかりでなく、地域関係者もネットワークの輪に参加していただき、地域課題の抽出と解決に向けた方策を検討してまいります。
- ・ 地域ケア会議において、リハビリ専門職の参加枠を新たに設け、構成メンバーに入ってもらふことで、会議を充実させます。
- ・ 他職種協働・地域連携について、区役所や区社会福祉協議会と協力し、地域の関係機関の代表者とも連携し、様々な会議体や協議体、各種団体を数珠つなぎにし、双方向の意思の疎通を図ることで新しいネットワーク構築を模索します。
- ・ 包括カンファレンスにおいて、職業的専門職かそうでないか、フォーマルサービスかインフォーマルサービスかを問わず、多職種連携・多職種協働の関係構築を支援し、地域包括ケアシステムのネットワークの構築を図ります。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 要支援者に対して、自立支援に向けて生活機能向上に対する意欲を引き出し、自主的に介護予防に取り組めるよう具体的な提案を行いながら支援していきます。また、総合事業へ移行された対象者へは、引き続き地域のインフォーマルサービスなどを紹介し、地域で支えあいながら生活ができる自信が持てるよう様々な関係機関と協力できるよう日頃からの連携や協力体制を整えて情報提供を行ないます。
- ・ 委託先のケアマネジャーに対して介護予防支援業務に関する勉強会の実施や包括カンファレンスなどを通じて意見交換や情報共有の機会を設けて、連携を強化していきます。
- ・ 困難なケースについては、区役所や関係機関と連携しながら支援をしていきます。また日頃から顔の見える関係を構築し、早期に対応ができるよう関係性を深めていきます。
- ・ 介護予防に資する社会資源の発掘や把握に努め地域情報を整理しながら情報発信を行います。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ・ 介護予防普及啓発強化事業として、地域アセスメントから得られた課題を踏まえながら介護予防に関する講座や講演会を開催します。「GOGO 元気塾」を2クール実施します。会場をケアプラザと地域会場と同じ内容のものを開催します。
- ・ 元気づくりステーションは、ケアプラザ内のスクエアステップ教室と桂台コミュニティハウスでの脳活体操、スクエアステップの2つあり、支援しています。スクエアステップを行うにあたり、リーダーを育てて指導者と一緒にスクエアステップが楽しく行えるようにします。  
ノルディックウォーキングのグループ支援を継続し自主活動ができるよう支援します。
- ・ 地域の老人会や地域サロンなどに積極的に参加し体操等の介護予防の情報を提供します。

## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- ・機械警備、消防設備、空調機器、電気設備、昇降機及び害虫駆除、植栽管理について、定期点検等の業務委託により、実施しております。
- ・館内の日常清掃・定期清掃について、委託業者を選定し、実施しております。
- ・設備総合巡視点検について、専門業者に委託し、総合的に施設の維持管理を行ってまいります。
- ・30年度についても、毎月第4月曜日を施設点検日と定め、集中的に定期点検等を実施してまいります。
- ・毎日の業務終了時に、自主点検記録票をもとに全館をチェックし、不具合がないか日々の確認を行なってまいります。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・事業の運営方針として、地域の利用者が自立した日常生活を営めるよう支援することを目標に、ニーズや要望を尊重し、公平中立にプランを作成し、地域のサービス事業者との連絡調整を行なってまいります。
- ・事業の実施に当たっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めてまいります。
- ・業務の見直しを行い、経費の削減、節約に努めてまいります。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・利用者、地域住民等からの苦情受付について、苦情を受けた職員は速やかに所長に報告を行い、所長は法人本部、区役所との綿密な連携で対応を行います。苦情の内容については、苦情受付記録簿に記録し、情報の共有及び改善対策を講じていきます。苦情の対応について、職員全体で定期的に研修を行なってまいります。
- ・苦情処理に関し、窓口担当者及び管理者等、当事者の判断の他に公平な立場に立って苦情処理に関わる法人本部設置の第三者評価委員会の対応も必要に応じて行ってまいります。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ケアプラザ職員間の緊急連絡網を作成し事務所に掲示して迅速に対処してまいります。
- ・防犯・防災の緊急対応については警備会社との契約により対応に備えております。
- ・館内の各部屋、ホール、トイレ等に避難経路を掲示し、利用者へ防災の促しを行う。
- ・ケアプラザ内で定期的に防火防災訓練を実施し、防災時の行動について、常に意識を高めてまいります。
- ・天災・地震等緊急時の対応については、地域防災拠点・避難場所が隣接のあかね台中学校であることを職員間で周知し、利用者の誘導にあたります。
- ・災害時における在宅要援護者のための特別避難場所として、応急備蓄物資を備え、緊急時の対応に備えてまいります。

#### オ 事故防止への取組について

- ・ 定期的にはリスク検討委員会を開催し、運営上の事故やリスクについて、改善すべき案件について具体的な対策を検討、実施してまいります。
- ・ 毎年、定期的に事故防止の研修を行い、職員全体の意識向上に努めてまいります。
- ・ ヒヤリハットの事例があれば、検討会を適宜開催し、予防対策を講じていきます。
- ・ F A X 誤送信や個人情報漏えいの事故を予防する為に、定例会議や職場内研修での周知を定期的に行い、ダブルチェック体制で確認作業を行ってまいります。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報の保護に関する法律及び横浜市個人情報保護に関する条例、秘密保護に関する全ての法令並びに個人情報取扱い特記事項について、職場内研修や会議等の場を通して十分に理解するよう周知を図ってまいります。
- ・ 利用者等の個人情報について、ファイル等は鍵がかかるキャビネットでの保管を義務付けて管理してまいります。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 第三者評価制度に基づき、評価を受け、施設の取り組み事項について公表を行っております。
- ・ 利用者への事業案内、貸館の利用について、個人情報の取扱い、苦情処理等の対応、第三者委員の明示、居宅介護支援事業所運営規程、介護予防支援事業所運営規程等を掲示し、利用者への情報公開を行っております。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・ 「人権の擁護」と「権利擁護」について、全職員を対象に職場内研修を行い、子どもから高齢者までが集う保健福祉活動の拠点としての意識を高め、地域の誰もが安心して暮らせる地域作りについての認識を深めてまいります。
- ・ 「人権」や「権利の擁護」について、幅広く、様々な問題がありますが、出来る限り、地域住民の皆様にも理解していただけるよう、掲示板やポスターでの啓発、ケアプラザでの事業等で機会に応じて職員からの啓発や、考えるきっかけとなるような取り組みを行なってまいります。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 館内の施設について、日常清掃、定期全館清掃を業者に委託して実施します。
- ・ 館内の敷地周辺部の植栽について、専門業者による管理を行い美化に努めてまいります。
- ・ 節電について、館内照明の管理と、エアコンの節電を徹底し省エネに努めてまいります。
- ・ 館外の外灯は、季節に応じて、点灯時間を適正に管理してまいります。
- ・ 廃棄ゴミ処理について、横浜市のルート回収を利用し、廃棄ゴミ分別の徹底を図ってまいります。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
主任ケアマネジャー	常勤兼務	1名
社会福祉士	常勤専従	1名
看護師	常勤専従	1名
プランナー	非常勤	2名

#### 《目標》

- ・要支援者に対して、自立支援に向けて生活機能向上に対する意欲を引き出し、自主的に介護予防に取り組めるよう具体的な提案を行いながら支援していきます。また、総合事業へ移行された対象者へは、引き続き地域のインフォーマルサービスなどを紹介し、地域で支えあいながら生活ができる自信が持てるよう、様々な関係機関と協力できるよう日頃からの連携や協力体制を整えて情報提供を行ないます。
- ・委託先のケアマネジャーに対して介護予防支援業務に関する勉強会の実施や包括カンファレンスなどを通じて意見交換や情報共有の機会を設けて、連携を強化していきます。
- ・困難なケースについては、区役所や関係機関と連携しながら支援をしていきます。また日頃から顔の見える関係を構築し、早期に対応ができるよう関係性を深めていきます。
- ・介護予防に資する社会資源の発掘や把握に努め地域情報を整理しながら情報発信を行います。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者の実費負担はなし。

●

●

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・包括3職種及びプランナーそれぞれが互いに連携し、また委託先の居宅介護支援事業所とも良好な関係を築きながら支援しています。
- ・個人情報には十分留意し、公平を期し、利用者のご家族が安心して自立した在宅生活を送れるように支援しています。
- ・インフォーマルサービスなどの情報提供も積極的に行い、地域に根付いた在宅支援を目指します。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	140	140	143	143	143
10月	11月	12月	1月	2月	3月
145	145	145	148	148	148

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 常勤兼務 1名  
 介護支援専門員 常勤専従 3名  
                           常勤兼務 1名  
                           非常勤 1名

《目標》

地域包括支援センターをはじめ、行政機関や各関係事業所等との連携を大切にし、住み慣れた地域での在宅生活を支援していきます。

- ・緊急対応ケース、支援困難ケースの受入を積極的に行い、職員全員で協力する体制を取り、連携を取りながら多職種連携に取り組んでまいります。
- ・本人の自立支援のみならず、家族支援も視野に入れ、総合的な支援が行えるよう努めてまいります。
- ・介護支援専門員実務研修における実習希望があった際には、これを積極的に受け入れ介護支援専門員の育成に協力します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- サービス提供範囲内の利用者負担はなし
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

5名介護支援専門員が在籍しています。（管理者含む）  
 介護支援専門員の経験年数は異なりますが、職員全員で情報共有をし、様々なケースに取り組んでいます。  
 特定事業所加算Ⅲの事業所として、計画的な研修の実施および介護支援専門員一人一人の個別年間研修計画を作成し、ケアマネジメント技術を向上させ、ご利用者、ご家族様が安心して自立した在宅生活を送れるように支援しています。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
120	120	120	120	120	120
10月	11月	12月	1月	2月	3月
124	124	124	124	124	124

平成30年度「横浜市恵田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,721,058		17,721,058	17,721,058	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	17,721,058	0	17,721,058	17,721,058	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,196,122	0	9,196,122	0	9,196,122	
本俸	6,288,275		6,288,275	0	6,288,275	
社会保険料	950,445		950,445	0	950,445	
手当計	1,832,189		1,832,189	0	1,832,189	
健康診断費			0	0	0	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	125,213		125,213	0	125,213	
その他			0	0	0	
事務費	2,698,978	0	2,698,978	0	2,698,978	
旅費	76,665		76,665	0	76,665	
消耗品費	298,056		298,056	0	298,056	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	414,319		414,319	0	414,319	
通信費	618,029		618,029	0	618,029	
使用料及び賃借料	2,760	0	2,760	0	2,760	
横浜市への支払分	2,760		2,760	0	2,760	
その他			0	0	0	
備品購入費	33,048		33,048	0	33,048	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	123,224		123,224	0	123,224	
職員等研修費	2,500		2,500	0	2,500	
振込手数料	45,280		45,280	0	45,280	
リース料	263,088		263,088	0	263,088	
手数料	38,089		38,089	0	38,089	
地域協力費	64,000		64,000	0	64,000	
その他	719,920		719,920	0	719,920	
事業費	56,466	0	56,466	0	56,466	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	14,466		14,466	0	14,466	
管理費	4,106,542	0	4,106,542	0	4,106,542	
建築物・建築設備点検			0	0	0	予算:指定額
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	788,358		788,358	0	788,358	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算:指定額
機械整備費	243,466		243,466	0	243,466	
設備保全費	961,131	0	961,131	0	961,131	
空調衛生設備保守	200,076		200,076	0	200,076	
消防設備保守	63,137		63,137	0	63,137	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	25,596		25,596	0	25,596	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	672,322		672,322	0	672,322	
共益費			0	0	0	
その他	1,639,587		1,639,587	0	1,639,587	
公租公課	680,000	0	680,000	0	680,000	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	680,000		680,000	0	680,000	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	16,738,108	0	16,738,108	0	16,738,108	
差引	982,950	0	982,950	17,721,058	△ 16,738,108	

自主事業費収入	14,466		14,466	0	14,466	
自主事業費支出	14,466		14,466	0	14,466	
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市恩田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,212,000		23,212,000		23,212,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他(指定管理充当分)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	29,152,000	0	29,152,000	0	29,152,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,897,350	0	23,897,350	0	23,897,350	
本俸	12,295,170		12,295,170		12,295,170	
社会保険料	2,962,981		2,962,981		2,962,981	
手当計	8,327,161		8,327,161		8,327,161	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	312,038		312,038		312,038	
その他			0		0	
事務費	1,046,649	0	1,046,649	0	1,046,649	
旅費	203,488		203,488		203,488	
消耗品費	50,545		50,545		50,545	
会議随費			0		0	
印刷製本費	88,628		88,628		88,628	
通信費	163,735		163,735		163,735	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	33,048		33,048		33,048	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	175,020		175,020		175,020	
職員等研修費	32,957		32,957		32,957	
振込手数料	8,640		8,640		8,640	
リース料	54,432		54,432		54,432	
手数料	25,393		25,393		25,393	
地域協力費	20,000		20,000		20,000	
その他	190,763		190,763		190,763	
事業費	1,133,332	0	1,133,332	0	1,133,332	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	43,332		43,332		43,332	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,091,608	0	1,091,608	0	1,091,608	
建築物・建築設備点検			0		0	予算:指定額
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	
水道料金			0		0	
清掃費	209,562		209,562		209,562	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	64,718		64,718		64,718	
設備保全費	255,489	0	255,489	0	255,489	
空調衛生設備保守	53,184		53,184		53,184	
消防設備保守	16,783		16,783		16,783	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	6,804		6,804		6,804	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	178,718		178,718		178,718	
共益費			0		0	
その他	435,839		435,839		435,839	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当施設設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	27,168,939	0	27,168,939	0	27,168,939	
差引	1,983,061	0	1,983,061	0	1,983,061	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
なごみサロン	高齢者	20,000	地活	20,000	20,000		20,000		
	1回/20名		包括						20,000
	100円		介護						
			生活						
かーる軽体操	高齢者	140,944	地活	120,000	120,000		128,064	12,880	
	1回/20～30名		包括						140,944
	300円		介護						
			生活						
おりがみキッズ	未就園児と保護者	1000	地活	1000			1000		
	15名		包括						
	無料		介護						
			生活						
みんなで昼食会	70歳以上	20000	地活	20000	20000		20000		
	15名		包括						
	500円		介護						
			生活						
母の日企画	小学生	12000	地活	12000	12000		12000		
	40名		包括						
	300円		介護						
			生活						
父の日企画	小学生	19000	地活	19000	19000		19000		
	40名		包括						
	450円		介護						
			生活						
悠YOUmen's②	概ね60歳以上の男性	222320	地活	220000	220000		210000	12320	
	20名		包括						
	500円		介護						
			生活						
実験教室	小学生	8000	地活	8000	8000		8000		
	20名		包括						
	400円		介護						
			生活						
実験サポーター養成講座	18歳以上	3000	地活	3000			3000		
	10名		包括						
	無料		介護						
			生活						
生活お役立ち講座	どなたでも	7120	地活	6000	6000	3000	3000	1120	
	20名		包括						
	0～300円		介護						
			生活						
骨盤底筋トレーニング塾	女性	160020	地活	160000	160000	110000	32100	17920	
	25名		包括						
	300円		介護						
			生活						
うたの広場	どなたでも	66000	地活	62000	62000	66000			
	25名		包括						
	300円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。



# 平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
手芸かふえ	どなたでも	75,000	地活	75000	70000		55000	20000	
	20名		包括						
	0～300円		介護						
			生活						
コーヒーで地域貢献	どなたでも	30,000	地活	30000	28800			30000	
	10名		包括						
	400円		介護						
			生活						
恩古知新隊	どなたでも	65000	地活	65000	60000		60000	5000	
	25名		包括						
	200円		介護						
			生活						
おはやし体験会	小学生～シニア	6720	地活	6720					6720
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
きらピカ☆まちびと	きらピカ☆まちびと	1680	地活	1680					1680
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
なごみサロン	概ね65歳以上の方が気軽に集えるサロン。 地域の方同士がお茶を飲みながらおしゃべりをし、交流を深める。	毎月1回 第1水曜日 13:30～15:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かーる軽体操	高齢者の介護予防の体操教室。 椅子に座りながらストレッチや筋トレを行い腰痛や肩こりを予防し、セルフケアの仕方を学び、転倒予防と筋力低下を防ぐ。	毎月2回 第2、4金曜日 10:30～11:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小さいいちご 大きいいちご 親子のひろば	子どもの月齢に合わせて、気軽に利用出来るフリースペースを常設。 保護者同士の交流を促し、子育て中の保護者の孤立を防ぐ。 12時～13時まではランチタイムとする。	小さいいちご 毎週月・水 大きいいちご 毎週火・木 親子のひろば 不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もみじのおてて	恩田地区にある、もみじ保育園と共催。 毎月テーマを決め、子育ての情報を発信し、地域の子育て世代のサポートを行う。 子どもと保護者の関わりを深める為の体操や遊びを提案	5月～平成29年 2月まで 毎月1回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれいば〜く	未就園児とその保護者を対象とした子育てサロン。 季節に合わせた催しや工作等を楽しみながら、子育て中の保護者同士の仲間作りを支援する。季節に合わせた催しや工作等を楽しみながら、子育て中の保護者同士の仲間作りを支援する。	第4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あゆちゃんとう たってあそぼう	未就園児とその保護者の居場所作り。 童謡を歌ったり手遊びをして、パネルシアターとリトミックを楽しむ。 地域の保育士とピアニストのボランティアへ活動の場の提供。	第3水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おりがみキッズ	子ども達に伝承遊びの1つである折り紙に触れる機会を作る。未就園児を子育て中の母親の交流の場としながら、高齢者の参加希望者も受け入れ、異世代交流の場とする。	第2火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
悠YOUmen's①②	2グループ活動中。 定年退職した男性の地域での活動の場づくり。 料理の集まりを通してボランティアとして活動出来るよう育成し、ケアプラザ事業や地域の活動に参加していく。	月2回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
骨盤底筋トレーニング塾	ピラティス・エクササイズで骨盤底筋を鍛え、尿漏れや腰痛を予防・解消し、外出を控える等閉じこもりの生活になることを防ぐと共に、介護予防を意識する。	月 2 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お花のボランティア	ケアプラザや地域で活動するお花のボランティアを養成する。これまでボランティア活動をしたことがない方でも趣味を生かして、地域の活動に参加出来るよう繋げていく。	不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おんちゃんの部屋	あかね台中学校の定期テスト前4日間のみ実施。あかね台中学校に来る教育実習生や地域の学生をボランティア先生として、中学生の学習をサポートする。地域内での中学生の居場所作り。あかね台中学校との連携。	あかね台中学校定期テスト前 4日間 年4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きらピカ☆まちびと	恩田地区住民を対象とし、地域の為に活動している方を講師に迎え、取り組みを紹介して頂き、まちを元気にするヒントを考える。ケアプラザ内にマップを掲示し、来館者に恩田地区内でお気に入りの場所を書き込んでもらいながら情報を集め、その地図を参考にしながらまち歩きをして、社会資源や良いところを知り、マップを完成させる。	月 2 回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生活お役立ち講座	身近なテーマを挙げて、今すぐ生活に役立つ情報の提供する。 連続講座となる為、参加者同士の親睦を深める。 アロマを生活に取り入れる、まち歩き、防災等	不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手芸かふえ	手芸を通じた地域の方の交流の場。 趣味の小物作り、寄付用の布おもちゃ作成。 ボランティアグループの育成。	月2回 第1・第3火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場 @恩田	唱歌から流行の歌まで歌ったり、楽器を使ってリズムをとって音楽を楽しみ、地域の方同士の交流を深める。	第1金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まちかど相談	行政書士による無料相談会。	第2火曜日 第4土曜日

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
将棋の会	将棋や囲碁を通して、地域の高齢者と子どもの交流の場を設ける。 老人会に属さない高齢者、特に男性の居場所作り	第4土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日企画 アロマのバス フィズ作り	小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。母の日に合わせて企画。 母親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父の日企画 手作りマグカップ	小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。父の日に合わせて企画。 父親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
からだにいいことセミナー	近隣にある医療機関やケアプラザの協力医を講師とし、あらゆる健康に関わる情報を知る講座。	不定期

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで昼食会	悠YOUmen'sによる、地域にお住いの独居の高齢者との食事会。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実験教室	身近にあるものでもので物作りをし、科学に親しむ。 小学生やその保護者にケアプラザの周知。	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
恩古知新隊	長く恩田地区にお住まいの方から話を聞いたり、歴史のある場所を訪ねて地域の資源や良いところを知ること、自らの住むまちに愛着をもつ。	第2月曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自習室	中学生から大人までが利用出来る学習スペース。 おんちゃんの部屋以外に、中学生が気軽に利用出来る学習や読書の出来るスペースを確保する。 土日・祝日の利用者が少ない時間帯の来館者を増やす。	土日・祝日

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはやし体験会	恩田地区に古くから続いている郷土芸能（ひよっこ、おかめ、獅子舞、たいこ演奏者）の担い手を発掘する。これまで郷土芸能に触れたことがない子どもや地域の方に関心を持って頂く。 それぞれ好きなパートを選んで習得し、希望者は杉山神社のお祭りに参加して頂く。対象者は小学生からシニアまで。	月 2 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体験会	ケアプラザで活動されている団体が継続して活動出来るように支援する。それぞれの団体の活動を地域住民に知って頂く機会にする。	4 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実験教室サポーター養成講座	ケアプラザで実施している実験教室のお手伝いをするボランティア養成講座。	月 1 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数



# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数